



「知への初々しい憧れと畏敬の念」

～子どもの学びを支える教師力・学校力の強化～

校長通信第141号 令和4年2月17日

「空港教室」

2月15日（火）に、標記の空港教室を実施しました。対象は第6学年の児童で、総合的な学習の時間と連動したキャリア教育です。羽田空港の関係者の方が11名、金子指導主事、区関係者がご来校され、授業が行われました。

当日、いらしてくださったのは、パイロット（JAL）、キャビンアテンダント（ANA）、航空管制官（航空局）の方々です。大人の我々でも、なかなかどういうお仕事なのか知りたくなりますが、次のように、教室を開催していただきました。

①全体講義形式による仕事の紹介

体育館で第6学年全員が聴講しました。羽田空港の紹介、パイロット・キャビンアテンダント、航空管制官の仕事の紹介、パイロットと管制官の通信実演



②グループ形式による仕事紹介

全体講義の終了後、パイロット・キャビンアテンダント・航空管制官のうち、児童が選んだ職業別に分かれ、話を聞く。それぞれ、業務紹介、クイズ、体験、質疑応答という流れでした。

初めの全体講義形式による仕事の紹介では、普段あまりお会いできない方が目の前にいるので、緊張気味の子どもたちでした。しかし、わくわくしている様子も見えました。羽田空港は、1日の利用者が約20万人。6万人が働いているそうです。

グループ形式による仕事紹介では、自分が選んだ仕事なだけに、興味津々。実際に体験をして、格好いいなと思った子どもたちがたくさんいたように感じます。こういう質問した子どももいました。

「パイロットは、お給料はいくらですか。」「自動操縦しているときは、何をしていますのですか。」

「キャビンアテンダントの髪形は決まっているのですか。」「今まで行った国で、一番好きな国は？」

「飛行機の衝突はないのですか。」

キャビンアテンダントは、接客という立場なので、服装、髪型、お化粧などのやり方が決まっているとのこと。試験もあるそうで、徹底していますね。



将来、このことが何かのきっかけとなり、多くの学びに努め、糀谷小から羽田空港関係の業務に携わる子どもがいたら、嬉しいと思います。